

学園教育目標 発見し、はぐくみ、かたちにする学びの広場
めざす人間像 よりよい未来を共に創り出す人間

附属山口中学校のこれからの研究について

研究部長 松田 祥奈

教育学部の理科系の学科を卒業した私は、卒業論文ではなく、卒業研究を行いました。「〇〇ならば□□になる」という仮説を立て、実験を計画し、実験し、結果を分析することで仮説が正しいかどうかを検証するという一連の流れを繰り返し行っていました。そのため、理科や科学にとって「研究」という言葉は身近な言葉だと言えます。

本校の特色は、「研究校であること」「教育実習校であること」「義務教育校であること」の三つです。ホームページにも、「中学校教育の理論的・実践的研究を進める」と明示されています。そして、今年度からは幼小中一貫教育という視点も加わっています。



幼小中一貫教育はあくまでも手段です。大切なのは、幼小中12年間の一貫した教育を通して、どのような子どもを育てていくか、どんな人間になってほしいか、という部分であり、そのために何をしていくかです。私たちは、「対象・自己・他者」と向き合う子どもの姿が、授業や行事、学校生活の様々な場面でみられるよう、「向き

合う」をキーワードに研究を進めています。これから先の社会、この子たちが大人になる頃の社会は、不確定で予測不可能な社会と言われています。確実に、今よりも厳しい状況で、解決しなければならない問題が山積みになる、決して明るいやさしい未来ではないといえます。そういった厳しい未来でも、へこたれることなく、課題を一つひとつ解決し、よりよく生き抜くためには、様々なことから逃げず、「向き合う」ことが大事だと考えたからです。



どのようなことをしたら生徒は「向き合う」ことができるようになるか、いわゆる仮説という部分については今後、さらに検討を重ねる必要があります。そして、実践を重ね、検証し、仮説を再検討し、さらに実践、と繰り返しながら全教員が一丸となって研究に取り組み「よりよい未来を共に創り出す人間」を育てたいと思います。

～生徒会役員選挙～

12月10日に生徒会役員選挙が行われました。立会演説会、そして投票があり、新生徒会長と副会長が決まりました。今年度の選挙では、たいへん多くの生徒が立候補し、選挙期間中、附中をよりよくするため、自分なりの考えを訴えることはもちろん、あいさつや清掃活動など行動で示している姿も多く見かけられました。選挙は終わりましたが、これからも、この熱い気持ちをもち続け、生徒の力で附中をさらに発展させてほしいと思います。

生徒会長 梶川拓海 君(2A)

副会長 黒木伸愛 さん(2B) 原田仰 君(2D)



中学生創造アイデアロボットコンテスト中国・四国地区予選大会

12月9日(日)に広島市の広島市立大学で大会が開催されました。本校技術部から基礎部門4チーム、活用部門4チームが出場しましたが大活躍で、全国大会には基礎部門1チーム、活用部門3チームが出場します。



＜山口県教育委員会からのお知らせ＞

ふれあい夢通信 冬の特集号(第53号)

山口県教育委員会では、今月、「ふれあい夢通信」ホームページに、「冬の特集号(第53号)」を掲載しています。県教育・イベント・読者プレゼント情報など、冬の特集記事が掲載されています。本県教育に関する様々な情報が得られますので御一読ください。

○「ふれあい夢通信」ホームページ

<http://www.pref.yamaguchi.lg.jp/cms/a50100/kkt/fureyume.html>

「わが家のやくそく大募集 冬休みチャレンジ」

「家族の元気応援キャンペーン」の一環として、「わが家のやくそく大募集 冬休みチャレンジ」を実施します。「わが家のやくそく大募集」の応募用紙や、保護者向けのリーフレット「夢をはぐくむ家庭の元気」は、県教育委員会ホームページ「家庭の元気応援キャンペーン」からダウンロードできますので、御活用ください。

1月の予定 部活動終了17:00 最終下校17:15

1日(火)元旦 大学閉庁(～3日)

8日(火)全体学活

9日(水)3年習熟度テスト

10日(木)生徒会役員任命式

11日(金)中央委員会

14日(月)成人の日 山口市駅伝大会

15日(火)実行専門委員会

16日(水)第3回参観日

17日(木)生徒会役員引継式

20日(日)重唱アンサンブルコンテスト

21日(月)入校制限(～2月8日)

22日(火)3年学年末テスト・三者懇談【希望者】(・23日)

24日(木)避難訓練

26日(土)創造アイデアロボットコンテスト全国大会(東京)

30日(水)1・2年習熟度テスト





